

## 「企業局経営計画の平成30年度 進捗状況及び評価」について

## 1 達成状況別 取組数

取組数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
61 【H29実績】	49(80%) 【47(77%)】	11(18%) 【13(21%)】	1(2%) 【1(2%)】	0(0%) 【0(0%)】

## 2 主な実績と評価

経営目標 1 社会貢献の加速	
A	No. 1: 廃止発電所、砂防堰堤などを活用した実証モデルの検討・導入 (KPI: 平成32年度から小水力発電施設の実証実験, ⑩詳細設計) ⑩ <u>神山町における新神領発電所(仮称)の建設計画を策定、予算要求</u>
A	No. 4: 東京五輪キャンプ地誘致を見据えたカヌー拠点の整備支援 【B】(KPI: 平成29年末までに艇庫用地の整地及び外灯の設置, ⑩キャンプ地誘致・連携) ⑩ <u>カヌーセンター構内整備がH30.11に完了、ドイツ代表チームがトレーニングキャンプを実施</u>
C	No. 7: 地域が進める森づくりを支援 (KPI: 平成33年度までの5年間で500haの取得支援, ⑩100ha/年) ⑩ <u>89ha: 那賀町60.4ha+上勝町(機構)29.12ha=89.52ha</u>
A	No. 8: 企業局の森づくりを情報発信 【B】(KPI: スマート回廊周辺において林業体験エリアを設置・活用, ⑩活用) ⑩ <u>鷲敷中学校の生徒を対象に「森林体験エリア」で森林体験授業を実施</u>
経営目標 2 安全安心の確保	
A	No. 17: 工業用水道管路の耐震化 (KPI: H33末までに緊急性の高い管路8.4kmの整備, ⑩40%完了) ⑩ <u>進捗率43%: 今切配水本管管更生により耐震化が316m進捗</u> (KPI: 応急的な河川からの直接取水について、他機関との連携・推進) ⑩ <u>農水管との接続、河川からの直接取水に係る関係機関と協定書締結</u>
B	No. 19: 土木構造物の耐震化への集中投資 【A】(KPI: 日野谷発電所、川口ダム施設の耐震化の実施) ⑩ <u>日野谷発電所水圧鉄管、水路橋の耐震化着手</u>
A	No. 35: 対応マニュアル、連絡体制の適宜見直し及び周知 (KPI: 機器操作マニュアル等の見直し及び周知徹底) ⑩ <u>AIトラブルシューティング支援システムの構築、危機管理対応マニュアルの作成</u>
A	No. 40: 大学、民間等の連携 【B】(KPI: 産官学連携による点検等の省力化、効率化の調査・研究) ⑩ <u>徳島大学と共同研究によりインフラ点検ロボットの仕様決定・開発・導入</u>

## 主な実績と評価（つづき）

経営目標 3 経営力の強化	
A	No. 45：他部局、他機関との積極的な人事交流 (KPI：他部局等との人事交流の実施, ⑩1名以上/年) ⑩4名：那賀町、総務省、環境首都課、水・環境課に各1名を派遣
A	No. 46：大学、民間等との連携 (KPI：職員スキルアップのための共同研究等) ⑩自然エネルギー地産地消モデル構築のため、阿南高専と共同研究を実施
B	No. 53：駐車場の他施設、イベント等との連携 (KPI：キャンペーン等の実施 年2回以上) ⑩アイスクリームや携帯カイロの無料配布等のキャンペーンを3回実施
A	No. 62：制度改正、規制緩和への政策提言
【B】	(KPI：政策提言を念頭に日々業務に携わる, ⑩政策提言) ⑩工業用水道施設の強靱化の加速について提言し、国予算に一部反映

### 3 経営計画の取組事項と進捗状況の評価一覧

取 組 事 項	項目数	評 価			
		A	B	C	D
<b>経営目標 1 社会貢献の加速</b>					
① 自然エネルギー導入の加速	3	1	2	0	0
② 既存ストックの有効活用と政策連携による地方創生への貢献	7	6	0	1	0
③ 戦略的な情報発信の推進	5	5	0	0	0
<b>経営目標 2 安全安心の確保</b>					
④ 南海トラフ巨大地震・活断層地震対策、老朽化対策	6	5	1	0	0
⑤ 危機管理体制の強化	8	8	0	0	0
⑥ 適正な施設の維持管理	5	5	0	0	0
⑦ 工事、維持管理等の効率化	2	2	0	0	0
<b>経営目標 3 経営力の強化</b>					
⑧ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	7	0	0	0
⑨ 経営資源の有効活用	11	5	6	0	0
⑩ 情報収集の強化	7	5	2	0	0
計（再掲を除く）	61	49	11	1	0